

えんがわ通信

「えんがわ」という名前には、人と人とのつながりが生まれ、「縁」が「輪」のようになって広がってほしいという願いが込められています。

第12号 2012年12月

発行 ＊ 一般社団法人パーソナルサポートセンター 就労支援事業部

住所 / 仙台市青葉区二日町6-6 シャンポール青葉201

電話 / 022-395-6258

WEB / http://www.personal-support.org/

職業体験実習参加者募集

県内18事業所が協力

PSC

一般社団法人「パーソナルサポートセンター」(青葉区二日町・略称PSC)は、県内の企業やNPO法人などで仕事を体験する「職業体験実習」の参加者を募集している。

事業は、生活の自立を目指す被災者らを対象に、社会とのつながりを取り戻すとともに、就業意識を高めてもらうのが目的。仙台市の委託事業として、ことし10月から実施している。

現在、受け入れ先として名乗りを上げているのは、県内に事務所を持つ造園や大手食品加工、弁当の製造・販売会社など18の事業所。製造業だけ

でなく、医療や福祉、飲食、販売など幅広い業態の事業所が受け入れに協力する。

体験期間は最長20日。PSCの担当者が同席した上で、希望の事業所と面接。受け入れが決まれば直接、会社に通い、従業員の指導を受けながら、仕事を体験する中で、業務内容などについて理解を深める。

期間中の交通費や昼食代は自己負担になるが、職業体験を終えた実習生には、日数や時間に応じて、最大で10万円の奨励金が支払われる。

PSC就労支援事業部の担当者は「意欲のある多くの被災者に体験し

てもらい、仕事探しや今後の就職活動のきっかけとしてほしい」としている。

同事業部では、職業体験実習の参加者とともに、受入をする協力事業所も募集している。受け入れた事業所には、一日3000円の「実施運営費」を支払う。

連絡先はPSC就労支援相談センター「わっくわあく」022(395)6258。

設立から10年の東京都三鷹市にある化粧品販売会社です。東洋ハーブを取り入れたスキンケア商品の通信販売を展開しています。モットーは「心肌体」(しんぎたい)。より多くの人に豊かな心や食を提案する取り組みをしています。

起業して最初のやるべきことは「基礎化粧品をつくる」ことでした。開発を進める中で、漢方が進んでいる中国には、「秘薬みたいなものがあるんじゃないか」と思い、農村部に行く、みんな化粧品など使わなくても肌がきれい。シミとかシワとかあってもピカピカしていました。

「なぜだろう」と思い、理由を聞いてみると、生活の

リズムや食事の取り方など、当たり前のことをやっていただけだったのです。そうした女性の姿から、「ひよりの暮らし方を根本的に変えていかなければ、肌のきれいさをキープできない」という結論に至りました。

突き詰めて考える中で、暮らしをよくするために「社会全体がよくならなきゃいけない」と思うようになったのです。

具体的に取り組むとして、本社に「森の楽校」というホールを併設。アートイベントや地域の方々の活動の場として活用してもらっています。また、山口県内の耕作放棄地で無農薬

の自主農園を経営したり、鹿児島県屋久島のスギでアロマオイルを製造し林業活性化に取り組んだりもしています。本社の近隣には、社員食堂「森の食堂」を置き、高齢者や主婦を雇用し、地域の方々にも開放する取り組みもしています。

東日本大震災後には、被災地への支援をはじめました。一時的でなく継続的に支援できる仕組みをつくるため、社内で意見を出し合いシステムを検討。化粧品を購入したときに貯まったポイントや寄付に充てる「ポイント募金」を展開しています。

加えて、ことしの5月からは、「ありがとうをつなぐプロジェクト」を始めまし

た。お客様にお友達を紹介してもらい、当社の無料お試しセットへの申込用紙付の絵本を贈ってもらう制度です。これによって削減できた広告費を、そのまま被災地への寄付に充てる予定です。すでに200万円以上集まりました。

プロジェクトでは同時に、友達を紹介してくれたお客様に、お礼として小物をプレゼントしています。ハワイの花の首飾りをモチーフにした「ハワイアンリボンレイストラップ」や手作りキャンドルの製作を、PSCに依頼し、女性の就労支援に役立ててもらっています。

今後の支援としては、バスツアーを企画しています。

東京には、大学を卒業しても、就職したくないという理由でフリーターをしている若者がたくさんいます。そうした若者を被災地に連れてきて、頑張っている地元の方たちの困りごとを聞き、元気にするのためのアイデアをどんどん出してもらえたらと思っています。

人には貢献したいという気持ちがありますし、自分のアイデアが採用されれば、関わりを持ちたいなと思っています。関わりを持てば、のめり込み、いずれ東北人になる。それが狙いです。

復興には時間がかかります。継続的な支援の一つの流れができたらと思っています。

「えんがわ」な人々⑫ 曾我 羊子(そがようこ)

インテリアコーディネーターを目指し、東京都内の一級建築士がいる会社で4年近く働いていたことがあります。

業界は男性がメイン。女性ながらも、男性と同じ仕事をしていくことで、会社の中で、次第に認められるようになりました。

その時の努力が、今の原動力になっている気がします。

今は、就労支援の枠組みの中で、内職プロジェクトやコミュニティショップの運営をサポートしています。

多くの方と触れ合う中で、就職の難しさを知りました。すぐに仕事につながらない人たちの「働く場」をどう確保するのか。これまでの自分自身の経験を少しでも役立てることができれば、と考えています。

明日へつなぐ

一過性ではなく、継続的な被災地支援が必要。若者のアイデアつなげ、一つの流れ作りたい。

あきゅらいず美養品 副代表 松本 毅史 さん



「なぜだろう」と思い、理由を聞いてみると、生活の

リズムや食事の取り方など、当たり前のことをやっていただけだったのです。そうした女性の姿から、「ひよりの暮らし方を根本的に変えていかなければ、肌のきれいさをキープできない」という結論に至りました。

突き詰めて考える中で、暮らしをよくするために「社会全体がよくならなきゃいけない」と思うようになったのです。

具体的に取り組むとして、本社に「森の楽校」というホールを併設。アートイベントや地域の方々の活動の場として活用してもらっています。また、山口県内の耕作放棄地で無農薬

の自主農園を経営したり、鹿児島県屋久島のスギでアロマオイルを製造し林業活性化に取り組んだりもしています。本社の近隣には、社員食堂「森の食堂」を置き、高齢者や主婦を雇用し、地域の方々にも開放する取り組みもしています。

東日本大震災後には、被災地への支援をはじめました。一時的でなく継続的に支援できる仕組みをつくるため、社内で意見を出し合いシステムを検討。化粧品を購入したときに貯まったポイントや寄付に充てる「ポイント募金」を展開しています。

加えて、ことしの5月からは、「ありがとうをつなぐプロジェクト」を始めまし

た。お客様にお友達を紹介してもらい、当社の無料お試しセットへの申込用紙付の絵本を贈ってもらう制度です。これによって削減できた広告費を、そのまま被災地への寄付に充てる予定です。すでに200万円以上集まりました。

プロジェクトでは同時に、友達を紹介してくれたお客様に、お礼として小物をプレゼントしています。ハワイの花の首飾りをモチーフにした「ハワイアンリボンレイストラップ」や手作りキャンドルの製作を、PSCに依頼し、女性の就労支援に役立ててもらっています。

今後の支援としては、バスツアーを企画しています。

東京には、大学を卒業しても、就職したくないという理由でフリーターをしている若者がたくさんいます。そうした若者を被災地に連れてきて、頑張っている地元の方たちの困りごとを聞き、元気にするのためのアイデアをどんどん出してもらえたらと思っています。

人には貢献したいという気持ちがありますし、自分のアイデアが採用されれば、関わりを持ちたいなと思っています。関わりを持てば、のめり込み、いずれ東北人になる。それが狙いです。

復興には時間がかかります。継続的な支援の一つの流れができたらと思っています。

「えんがわ」な人々⑫ 曾我 羊子(そがようこ)

インテリアコーディネーターを目指し、東京都内の一級建築士がいる会社で4年近く働いていたことがあります。

業界は男性がメイン。女性ながらも、男性と同じ仕事をしていくことで、会社の中で、次第に認められるようになりました。

その時の努力が、今の原動力になっている気がします。

今は、就労支援の枠組みの中で、内職プロジェクトやコミュニティショップの運営をサポートしています。

多くの方と触れ合う中で、就職の難しさを知りました。すぐに仕事につながらない人たちの「働く場」をどう確保するのか。これまでの自分自身の経験を少しでも役立てることができれば、と考えています。

「えんがわ」という名前には、人と人とのつながりが生まれ、「縁」が「輪」のようになって広がってほしいという願いが込められています。

第12号 2012年12月

発行 ＊ 一般社団法人パーソナルサポートセンター 就労支援事業部

住所 / 仙台市青葉区二日町6-6 シャンポール青葉201

電話 / 022-395-6258

WEB / http://www.personal-support.org/

「えんがわ」な人々⑫ 曾我 羊子(そがようこ)

インテリアコーディネーターを目指し、東京都内の一級建築士がいる会社で4年近く働いていたことがあります。

業界は男性がメイン。女性ながらも、男性と同じ仕事をしていくことで、会社の中で、次第に認められるようになりました。

その時の努力が、今の原動力になっている気がします。

今は、就労支援の枠組みの中で、内職プロジェクトやコミュニティショップの運営をサポートしています。

多くの方と触れ合う中で、就職の難しさを知りました。すぐに仕事につながらない人たちの「働く場」をどう確保するのか。これまでの自分自身の経験を少しでも役立てることができれば、と考えています。

「えんがわ」という名前には、人と人とのつながりが生まれ、「縁」が「輪」のようになって広がってほしいという願いが込められています。

第12号 2012年12月

発行 ＊ 一般社団法人パーソナルサポートセンター 就労支援事業部

住所 / 仙台市青葉区二日町6-6 シャンポール青葉201

電話 / 022-395-6258

WEB / http://www.personal-support.org/

「えんがわ」な人々⑫ 曾我 羊子(そがようこ)

インテリアコーディネーターを目指し、東京都内の一級建築士がいる会社で4年近く働いていたことがあります。

業界は男性がメイン。女性ながらも、男性と同じ仕事をしていくことで、会社の中で、次第に認められるようになりました。

その時の努力が、今の原動力になっている気がします。

今は、就労支援の枠組みの中で、内職プロジェクトやコミュニティショップの運営をサポートしています。

多くの方と触れ合う中で、就職の難しさを知りました。すぐに仕事につながらない人たちの「働く場」をどう確保するのか。これまでの自分自身の経験を少しでも役立てることができれば、と考えています。

「えんがわ」という名前には、人と人とのつながりが生まれ、「縁」が「輪」のようになって広がってほしいという願いが込められています。

第12号 2012年12月

発行 ＊ 一般社団法人パーソナルサポートセンター 就労支援事業部

住所 / 仙台市青葉区二日町6-6 シャンポール青葉201

電話 / 022-395-6258

WEB / http://www.personal-support.org/

「えんがわ」な人々⑫ 曾我 羊子(そがようこ)

インテリアコーディネーターを目指し、東京都内の一級建築士がいる会社で4年近く働いていたことがあります。

業界は男性がメイン。女性ながらも、男性と同じ仕事をしていくことで、会社の中で、次第に認められるようになりました。

その時の努力が、今の原動力になっている気がします。

今は、就労支援の枠組みの中で、内職プロジェクトやコミュニティショップの運営をサポートしています。

多くの方と触れ合う中で、就職の難しさを知りました。すぐに仕事につながらない人たちの「働く場」をどう確保するのか。これまでの自分自身の経験を少しでも役立てることができれば、と考えています。

「えんがわ」という名前には、人と人とのつながりが生まれ、「縁」が「輪」のようになって広がってほしいという願いが込められています。

第12号 2012年12月

発行 ＊ 一般社団法人パーソナルサポートセンター 就労支援事業部

住所 / 仙台市青葉区二日町6-6 シャンポール青葉201

電話 / 022-395-6258

WEB / http://www.personal-support.org/

「えんがわ」な人々⑫ 曾我 羊子(そがようこ)

インテリアコーディネーターを目指し、東京都内の一級建築士がいる会社で4年近く働いていたことがあります。

業界は男性がメイン。女性ながらも、男性と同じ仕事をしていくことで、会社の中で、次第に認められるようになりました。

その時の努力が、今の原動力になっている気がします。

今は、就労支援の枠組みの中で、内職プロジェクトやコミュニティショップの運営をサポートしています。

多くの方と触れ合う中で、就職の難しさを知りました。すぐに仕事につながらない人たちの「働く場」をどう確保するのか。これまでの自分自身の経験を少しでも役立てることができれば、と考えています。

「えんがわ」という名前には、人と人とのつながりが生まれ、「縁」が「輪」のようになって広がってほしいという願いが込められています。

第12号 2012年12月

発行 ＊ 一般社団法人パーソナルサポートセンター 就労支援事業部

住所 / 仙台市青葉区二日町6-6 シャンポール青葉201

電話 / 022-395-6258

WEB / http://www.personal-support.org/

「えんがわ」な人々⑫ 曾我 羊子(そがようこ)

インテリアコーディネーターを目指し、東京都内の一級建築士がいる会社で4年近く働いていたことがあります。

業界は男性がメイン。女性ながらも、男性と同じ仕事をしていくことで、会社の中で、次第に認められるようになりました。

その時の努力が、今の原動力になっている気がします。

今は、就労支援の枠組みの中で、内職プロジェクトやコミュニティショップの運営をサポートしています。

多くの方と触れ合う中で、就職の難しさを知りました。すぐに仕事につながらない人たちの「働く場」をどう確保するのか。これまでの自分自身の経験を少しでも役立てることができれば、と考えています。

「えんがわ」という名前には、人と人とのつながりが生まれ、「縁」が「輪」のようになって広がってほしいという願いが込められています。

第12号 2012年12月

発行 ＊ 一般社団法人パーソナルサポートセンター 就労支援事業部

住所 / 仙台市青葉区二日町6-6 シャンポール青葉201

電話 / 022-395-6258

WEB / http://www.personal-support.org/

「えんがわ」な人々⑫ 曾我 羊子(そがようこ)

インテリアコーディネーターを目指し、東京都内の一級建築士がいる会社で4年近く働いていたことがあります。

業界は男性がメイン。女性ながらも、男性と同じ仕事をしていくことで、会社の中で、次第に認められるようになりました。

その時の努力が、今の原動力になっている気がします。

今は、就労支援の枠組みの中で、内職プロジェクトやコミュニティショップの運営をサポートしています。

多くの方と触れ合う中で、就職の難しさを知りました。すぐに仕事につながらない人たちの「働く場」をどう確保するのか。これまでの自分自身の経験を少しでも役立てることができれば、と考えています。



「わっくわあく」の所在地

住所：仙台市青葉区二日町6-6
シャンポール青葉201
相談予約：022(395)6333

●市営地下鉄
勾当台公園駅北1より徒歩3分
北四番丁駅南1より徒歩5分

●市バス・宮交バス
県庁・市役所・青葉区役所前
停留所より徒歩2分

TOPICS(1月)

就業や進路に関する個別相談

専門の相談員による、就職や進路・キャリア等に関する個別相談を開催します。(就職の斡旋ではありません)

- 日時: 1月22日(火) 13~20時(お一人50分)
- 場所: AER6階 情報・産業プラザ内
- 対象: ①学生・求職中の方(年齢不問)、②在職者(30代まで)
- 定員: 28名
- 申込締切: 1月15日(火) 必着

◎申込方法: 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、学生・求職中・在職中のいずれかを記入し、郵便・FAX・Eメールでお申込み下さい。ご希望の相談時間がある場合にはご明記下さい。締切後に応募者全員に決定通知書をお送りします。

◎お問合せ先: 仙台市産業振興事業団

〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階
TEL: 022-724-1212、FAX: 022-715-8205
Eメール: koyoushien@siip.city.sendai.jp

のびすく仙台

- ◎利用できる人 主に乳幼児とその家族
- ◎住所 仙台市青葉区中央2丁目10番24号(仙台市ガス局ショールーム3階)
- ◎問い合わせ TEL: 022-726-6181 FAX: 022-214-5071

のびすく仙台開館9周年「ありがとう祭」**申込不要**

開館9周年の感謝祭です。遊びのコーナーやコンサートなど盛りだくさん是非、遊びに来てください。

- 日時: 1月13日(日) 10:30~15:00
- イベント出演: そらとぶクレヨン

プレパママ教室 **受付中**

子育ての情報交換・交流会など助産師さんを囲んで一緒に話しませんか? 沐浴体験や妊婦体験もあります。

- 日時: 1月20日(日) 10:00~11:30
- 講師: 堀内 輝子さん(仙台青葉学院短期大学 准教授)
- 対象: 初めてパママになる方
- 定員: 10組

グループ相談「初めての保育園」**1/8~申込開始**

保育園生活についてお話をうかがいます。入園前に、心配なこと、不安なこと聞いてみませんか?

- 日時: 1月23日(水) 10:00~11:30
- 講師: 安達 喜美子さん(朝市センター保育園園長)
- 定員: 15名(子どもと一緒に可)

料理教室

「仙台友の会」は、栄養改善を目的とした料理教室を開催します。楽しみながら、安くて栄養バランスのとれた料理をつくり、食生活の改善について考えませんか?

- 日時: 1月16日(水) 10:00~13:00
- 場所: コミュニティ・ワークサロン「えんがわ」
- 定員: 10名
- 参加費: 200円(実費)
- 持ち物: エプロン

◎申込: 090(3124)1181 [仙台友の会・前嶋] 080(4426)9824 [PSC・千葉]

えんがわ通信 求人コーナー

このコーナーでは、就労支援相談センター「わっくわあく」(PSC就労支援事業部)と提携する特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」が、みなさまにさまざまな求人情報をお届けします。

※特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」無料職業紹介事業(許可番号04-ム-300010)

有限会社 タカ物流

募集職種/ 中型運転手(4t)
 仕事内容/ 当社を拠点として南東北、北関東地区を中心に、食品(冷凍品、冷蔵品、ドライ品)を店舗に配送
 雇用形態/ 契約社員
 給与/ 日給5,480円
 みなし時間外手当込み
 総額16~22万円程度
 勤務地/ 名取市高館熊野堂
 勤務時間/ 変形労働時間制(1ヶ月単位)
 休日・休暇/ 月8~9日(シフト制・応相談)
 加入保険/ 雇用・労災・健康・厚生
 免許・資格/ 普通自動車運転免許(中型)

株式会社マスターマインズ

募集職種/ ポスティング・チラシ仕分け
 仕事内容/ 弊社業務のチラシ仕分けと配布(ノルマなし)
 雇用形態/ パート
 給与/ 時間給800~900円
 勤務地/ 仙台市青葉区
 勤務時間/ 1) 9:00~14:00
 2) 10:00~15:00
 3) 11:00~16:00
 4) 9:00~17:00
 の間の4時間
 休日・休暇/ 土日祝日
 加入保険/ 雇用・労災
 免許・資格/ 不問

株式会社 宮城運輸

募集職種/ 冷蔵・冷凍倉庫内作業員
 仕事内容/ 冷蔵・冷凍倉庫内の仕分け、ラベル貼り作業
 雇用形態/ パート
 給与/ 時間給720円
 勤務地/ 名取市高館熊野堂
 勤務時間/ 1) 12:00~19:00
 2) 12:00~21:00
 3) 6:00~15:00
 4) 9:00~18:00
 5) 6:00~10:00
 休日・休暇/ 月8~9日(シフト制・応相談)
 加入保険/ 雇用・労災・健康・厚生
 免許・資格/ 普通自動車免許(フォークリフトあれば尚可)

トウホクメンテナンス株式会社

募集職種/ 清掃
 仕事内容/ ヒルサイドショpps及びアウトレットのフロア清掃の仕事(女子トイレ清掃あり)
 雇用形態/ パート
 給与/ 時間給730円
 勤務地/ 仙台市青葉区錦ヶ丘
 勤務時間/ 8:00~12:00
 休日・休暇/ 週2~3日(シフト制)
 加入保険/ 労災
 免許・資格/ 不問

株式会社 宮城運輸

募集職種/ 点呼担当者(夜間)
 仕事内容/ トラック運転手の出発・終了点呼、書類整理
 雇用形態/ パート
 給与/ 時間給700円
 22時以降25%増
 勤務地/ 名取市高館熊野堂
 勤務時間/ 20:00~24:00
 休日・休暇/ 月8~9日(シフト制・応相談)
 加入保険/ 雇用・労災
 免許・資格/ 運行管理資格もしくは運行管理者基礎講習修了者

東洋ワーク株式会社 仙台営業所

募集職種/ 納豆製造作業
 仕事内容/ 大豆の洗浄・調理・盛り込み
 雇用形態/ 派遣
 給与/ 時間給900円
 (残業・休出は1,125円)
 勤務地/ 仙台市泉区明通
 勤務時間/ 8:00~17:00
 (実働7.75h)
 休日・休暇/ 月6~8日(シフト制)
 加入保険/ 雇用・労災・健康・厚生
 免許・資格/ 不問

※求人は12月10日現在のものです。求人募集が終了している場合がございますので、あらかじめご了承ください。

その他にも求人多数有り。求人に関する問い合わせ、連絡先は **022-395-6364** (ワンファミリー仙台 求人担当)

就職のお悩み相談は、就労支援相談センター「わっくわあく」へ。電話 022-395-6323



封入作業870人が参加
 1~11月 PSC 調べ
 仙台市からのお知らせ「復興定期便」の封入作業に参加した市内の仮設住宅などに住む居住者が1月~11月未まで、のべ870人を超えたことがPSC就労支援事業部の調べで分かった。12月の作業は、1000人近くに達する見込みで、1年間で1000人に迫る勢いだ。
 参加者の最多は、8月の140人。次いで、11月の84人、9月10月の75人の順になっている。2月~5月と10月からの作業では、炊き出しのメンバーとして6人ずつ参加しているほか、4月からは、運搬作業の手伝い

「えんがわ」のつぶやき

意欲と決断、拓くあした

就業人口は2020年に、
 「わっくわあく」は仕事から遠ざかっていた方や、少しずつ働いてみたい方など、就労に踏み出す意欲のある方を後押しするため、職業体験実習を始めた。
 体験実習で働く意欲ある方々の姿を見て、企業の担当者にも「このような人がいるのだ」と思ってもらえれば、と願っている。気軽に問い合わせしてほしい。お待ちしています。

「わっくわあく」は仕事から遠ざかっていた方や、少しずつ働いてみたい方など、就労に踏み出す意欲のある方を後押しするため、職業体験実習を始めた。
 体験実習で働く意欲ある方々の姿を見て、企業の担当者にも「このような人がいるのだ」と思ってもらえれば、と願っている。気軽に問い合わせしてほしい。お待ちしています。

就労支援相談センター「わっくわあく」がオープンして半年が過ぎた。これまで同センターに、相談にやってきました方の最高齢は81歳。仕事が決まった人には70代の女性も2人いる。そうした高齢者の方々の「やる気」には頭が下がる思いだ。
 こうした方々は、とにかく元気で決断が速く、そして仕事に対して、やる気に満ちあふれている。その前向きな姿勢がきつと70代の女性2人を採用した企業の採用担当者の心をも動かし、に違いない。

に4人が参加している。
 参加者の居住地は、青葉区川内や宮城野区扇町1、4丁目、太白区あすと長町などさまざま。市内から幅広く参加している。
 PSC就労支援事業部の担当者には、「多くの方々に参加していただき、ありがたい。作業はみんなで顔を合わせ、語らう場にもなっている。今後も積極的に参加してほしい」と呼びかけている。
 2013年1月の封入作業は23日~25日にコミュニティ・ワークサロン「えんがわ」で実施予定。午前の部が9時~正午、午後の部が1時から4時で、参加者には、一回あたり2000円相当の商品券が手渡される。
 連絡先は就労支援事業部・担当千葉080(4426)9824まで。